

各会議等の実施状況報告について	記録日	令和8年2月26日(木)
	担当課	スポーツ・生涯学習課
<p>会議名称 湖西市青少年育成センター運営協議会  開催日時 令和8年2月26日(木) 13:30~14:28  開催場所 市民活動センター 2階 大会議室  出席者 委員8名(欠席1名)、事務局5名 【計13名】 ※傍聴者なし</p>		
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 教育長挨拶</p> <p>3 副会長選出 ・委員互選により、青少年補導員代表の委員を選出</p> <p>4 協議事項  (1) 令和7年度 湖西市青少年育成センターの活動報告について (事務局説明)  [質問・意見]  委員 : 「ヤングダイヤルこさい」の案内はいつ、どのような形で行っているか。  事務局 : 入学説明会の資料や健全育成大会で作成したファイルをその他の会議の際に配布したり、毎月発行される広報こさいに掲載したりしている。  [承認]</p> <p>(2) 令和8年度 湖西市青少年育成センターの活動計画案について (事務局説明)  [質問・意見]  委員 : 活動計画内容で今年度と変更点はあるか。  事務局 : 例年通り行っていく。  委員 : 教員が補導員として祭典補導に出た時に、生徒が寄ってきて、誤解などを生むことがあると聞いたが、どのような形で補導活動が行われているか。  事務局 : 地域によって体系が異なっている。補導員と地域安全推進委員、自治会から出てくれる場所もあり、基本複数人で活動してもらうようにしている。再度全体会議で周知する。  委員 : 負担軽減という説明があったが、実際にどのような方法を考えているか。  事務局 : 代表者会議を2か月に1回開催していたが、1年間に2回に変更した。また報告書の報告内容を簡易化しており、人数の多い地区は班分けをして1人あたりの補導回数を調整してもらっている。  [拍手多数により承認]</p> <p>5 湖西市内の現状報告  【湖西警察署】  ・ 刑法犯認知件数は、令和3年から全国的に増加傾向。湖西署管内は、昨年1年間で246件。前年比26件増加。その中で万引きが27件で最も多く、自転車盗が22件であった。  ・ 特殊詐欺は、静岡県内で452件。前年比73件増加。被害総額30億円。前年比15億円増加。偽警察官詐欺が流行したことが要因と考えられる。詐欺の電話やメールについて、毎日警察署に問い合わせがきており、いつだれが被害にあってもおかしくない状況である。  ・ 特殊詐欺や詐欺関連、強盗等については闇バイトで被疑者を募り、実行犯をやらせることが多く、少年がかなり関わっている。学校と連携して非行防止教室など対策していきたい。  ・ 補導件数は前年度と同じ82件。喫煙が47件、11時以降の深夜徘徊22件、飲酒12件、家出1人。喫煙が非常に多く、大麻につながるゲートウェイ犯罪であり、大麻で捕まる年齢層が下がってきている。非行防止教室やスマホの使い方、薬物乱用教室で対策していきたい。  ・ 事件として扱ったのは万引き、公然わいせつ、痴漢の4件あった。青少年が被害に遭う福祉犯が盗撮4件、淫行1件、未成年者飲酒禁止法1件あった。</p> 【小学校】 ・ 校長会での報告では、比較的落ち着いた学校生活が送れている。 ・ 1人1台端末で健康観察“デイケン”を使用して子どもたちの心身の健康状態を把握するようになった。 (次頁へつづく)		

早期発見につながっており、早めの対応でいじめの解消率にもつながっていると思う。

- ・ いじめのアンケートを同じくデイケンのDアンケートを活用することで紙は出てこないことを広く把握できていることも認知件数につながっていると思う。

#### 【中学校】

- ・ 対教師暴力についてはほとんどない状態である。  
最近、いじめの動画などが全国で出ており、県内の小中学校でも緊急でアンケートを取ったり、情報モラル教育を行ったりなど2月に取り組んでいるものもある。
- ・ いじめの認知件数は、中学校は今年度減少しているものの、年々増加傾向である。
- ・ 誹謗中傷やなりすまし、仲間外れ、無断投稿など SNS 問題が課題になっている。一度投稿すると消えないデジタルタトゥーやグループチャットやダイレクトメールなど第3者が目の触れることができない問題であり、なかなか指導できない。学校としては保護者の方に家庭内ルールを作してほしいと訴えている。
- ・ 不登校数は、小学6年生から中学1年生、中学1年生から中学2年生が非常に増加している。学校生活に対してのやる気や不安、学業不振、友人関係と学校環境が原因になっていることがあるため、学校が子どもたちにとって安心できる環境づくりを強く進めないといけない。今年度より鷺津中学校、新居中学校、岡崎中学校の3校で校内教育支援センターを設置し、学校内で安心安全で不登校気味な子がいられる環境づくりをしている。今までは、少しでも学校に来られるように保健室や空き教室を利用し、空いている先生が面倒を見ていたが、授業等で1日つくことができなかった。校内教育支援センターでは、指導員についてもらい丁寧に対応してもらえらるため学校にとっても大変ありがたく思っている。

#### 【高等学校】

- ・ 私学無償化の関係で公立高校が厳しい状況である。
- ・ いじめや不登校の対応で苦労している部分がある。昔のように暴力や問題行動ということはさほど見られなくなった。暗い顔している子どもがいたら、昔は原因が見えていたものが見つけられなくなっていることからヤングダイヤルこさいや県の相談窓口、外部窓口などで拾ってあげることが大切になってくると思う。
- ・ 小中学校の問題を聞き、高校で受け皿になることや生徒たちがそこで明るく笑っていられるような場所にできたらと思う。そのために市と県で情報がずれることがあるが、共有して拾っていく仕組みが必要だと思う。
- ・ 江之島高校と新居高校は学校風土調査を実施している。表面では全く見えず、問題行動は起こさないが、心の中で問題が起こっている子が多い。毎日の健康観察やアンケート、学校調査で問題を探りながら学校でケアしていくことになっていくと思う。

### 6 その他（意見交換）

- ① 闇バイトの低年齢化しているとのことだが、中学生も入ってきているのか。

薬物乱用については中学校で講座を開いて学習しているが、闇バイトについても中学生のうちから学習したほうがいいか。

→中学生はないが、高校生は入ってきている。将来的に手を出さないという意味ではいいと思う。義務教育の時は時間がないが、高校生になり、時間ができて犯罪に手を出してしまうことがある。

- ② 補導活動をしているなかで子どもの姿を見ないという話を耳にする。目に見えないものに対してこれから子どもたちの健全な育成につなげることは大きな課題だと思う。このような課題があると共有して活動に活かしていけるものがあれば少しずつ活かしていけないと感じた。

### 7 閉会